

吉屋チルー 死人の歌

梗概 ジュリアンマーが乞食から多くの金もらった。それで吉屋チルーは嫌であるが、ジュリアンマーに呼ばれたので、(仕方なく一緒に寝た)その後、その乞食が帰るときに、「一日にグンジュ 百日にグカン たみていある錢小 あだになたさ (一日に 50 錢 100 日 5 貫貯めたお金が無駄になってしまった)」と歌った。それで吉屋チルーは、ただの人ではないと思って舌を嚙んで死んでしまった。墓の中に埋めるとジュリアンマーが毎日お茶当をしに、吉屋チルーの墓に行った。そこで泣いてばかりいたので、「生ちちょーたる間や 私すをにくわい 死にばくちゃやにかゆてい ぬすが (生きている間は私を粗末にして死ぬと通ってくるんですか)」と吉屋チルーが歌ったので、ジュリアンマーはそのときから来なかった。

話者情報 1912 (大正 1) 年生まれ 女性
記録日 1983 年 3 月 25 日
分類 伝説, 歌